



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第14号

例会日／2014年10月9日(木) 開会点鐘／12:30
会場／株式会社ヤクルト 本社福島工場2F PRルーム

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

職場訪問例会

株式会社ヤクルト 本社福島工場

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011

【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com



職場訪問例会にあたり

二〇一四―一五年度会長 丹治 正博

今年度の職場訪問例会は、ヤクルト本社福島工場のご協力を得て開催致します。本日は福島工場長の村崎昌秀様、総務課長の清野博様、総務係長の渡辺一夫様始め、福島工場の皆さま方には、ご多用の処私共のためにお時間を割き頂きご案内を頂くことになっております。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

さて、今回の例会に至った経緯ですが、私は毎年、福島工場年頭恒例の職場安全祈願のお祓いをご奉仕いたしており、そのご縁から、当クラブの職場訪問例会のお願いを申し上げましたところ、快くお引き受けを頂いた次第でございます。福島における老舗の生産工場として昔から親しまれてきたヤクルトさんの会社の風土や考え方について、会員の皆さんとともに改めて学ばせて頂きたいと思っております。

後ほど詳しいご案内を頂くことになっておりますが、まずは私の知り得るヤクルトさんのあらましについて些かお話をさせていただきます。近年、生活習慣病が増加するにつれて人々の健康志向が高まりを見えておりますが、今を遡る七十九年前、昭和の始めに微生物学の研究の重要性に着目し、病気を未然に防ぐことこそ普遍的な健康法と、ヤクルトの生みの親として予防医学、健腸長寿の重要性を唱えられた代田稔博士の情熱と飽くなき探求心に

よりシロタ株の培養に成功され、安くて美味しい乳酸菌飲料ヤクルトが世に出ました。以来、日々進化の歴史を刻まれ、平成二十二年の六月にはヤクルトの歴史始まって以来の世界の乳製品一日平均本数三千万本突破の快挙を達成されました。また、販売にあたっては、ふれあいを通して健康を届けることを具体化したヤクルト独自の宅配方式を柱とする優れた販売流通システムを確立されました。

福島工場の歴史は、昭和三十五年の十月東北ヤクルト製造(株)の設立に端を発し、次いで四十八年一月にヤクルト本社福島工場として新たな旅立ちをされてより、平成二十三年の東日本大震災により、完成間近の新工場棟の施設が甚大な損傷を受け、操業の継続も危ぶまれましたが、懸命な復旧工事により、その年の十二月には現在の新工場棟が目度く竣工して、ヤクルト本社の基幹工場として今に至っております。皆さんの中には小学生の頃、ヤクルト工場の見学をされ、昔の瓶の容器にはいったヤクルトの試飲をされた懐かしい記憶がおりの方も多いと思います。

かようにヤクルトが全世界で愛飲されるようになったのも、まさに地道な研究の積み重ねの成果と、徹底した製品管理はもとよりですが、日本流の誠実な商いの原点を貫き通す姿勢にその理由を伺い知ることが出来ます。今月は職業奉仕月間ですが、会員皆さんには、こうしたヤクルトさんの企業風土をご理解頂き、各自の職業奉仕を考える一助にして頂ければ幸いです。



●ヤクルト本社 福島工場

- ・工場長
- ・総務課長
- ・総務課係長

むらさき まさひで
村崎 昌秀 様
せいの ひろし
清野 博 様
わたなべ かずお
渡辺 一夫 様



「福島市発明くふう展」で 福島ロータリークラブ会長賞贈呈

去る10月4日(土)、「第63回福島市発明くふう展」の表彰式が午前10時より「コラッセふくしま」にて開催され、福島ロータリークラブ会長賞が授与されました。

本くふう展は、市民の創意工夫を育む目的で昭和27年に創設され、本年で63回を迎え、当クラブでは、社会奉仕委員会の継続事業として毎年後援を行っています。今年は出展総数296点を数え、厳正な審査の結果33点が入賞作品として選ばれました。当日は、受賞者始め関係者約80名、後援17団体のうち6団体の代表者が出席、当クラブからは丹治正博会長が出席し、以下の2名に会長賞の賞状と楯を授与しました。

「葉のいらないブックカバー」

渡利小6年 大友瑠璃子さん

「かんたんようぶくたたまき」

渡利小3年 清野 恵太くん



ロータリーの豆知識

第14回

ロータリー米山記念奨学会

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリーアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命です。

その歴史は50年以上前にさかのぼります。平和を愛し、青少年に手をさしのべた“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリークラブは、海外からの留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省(現・文部科学省)を主務官庁とする財団法人米山記念奨学会が設立されました。50有余年の歴史を持ち、世界に類を見ない日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっています。

米山記念奨学会の特色

一番の特徴は、その規模です。米山奨学生の採用数は、2013年度より年間700人。世界規模で展開しているロータリー財団国際親善奨学生の年間採用数と同じで、年間事業費は13.6億円(2012年度決算)です。これだけの外国人留学生を支援している奨学団体は、事業規模・採用数とも日本国内では民間最大です。これまでに支援した奨学生数は累計で17,545人(2013年7月現在)、その出身国は、世界121の国と地域に及びます。米山学友(元米山奨学生)は、韓国駐日大使やスリランカ警察庁長官、韓国・台湾のガバナーに就任した人など、世界中で活躍しています。

世話クラブ・カウンセラー制度

米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

世話クラブとは?

日本には約2,300のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

奨学会に対する寄付金

1. 普通寄付金…日本の全ロータリアンからクラブを通じて定期的に寄付。各クラブで会員1人あたりの金額を決定し、会員数分を半期に一度送金します。
2. 特別寄付金…個人、クラブまたは法人として、普通寄付以外に寄付されるもので、金額も時期も問いません。特別寄付はロータリークラブ以外の個人、法人、団体からも受けることができます。(税制上の優遇措置あり)

★表彰制度(一部)

米山功労者(個人) 個人の特別寄付金の累計額が10万円に達したときに、第1回米山功労者として表彰され、感謝状が贈られます。第2回から第9回(20万円～90万円)に達した方を「米山功労者(マルチプル)」、第10回以上(100万円以上)の方を米山功労者(メジャードナー)と呼び、10万円ごとに感謝状、100万円ごとにピンバッジが贈られます。このほか、法人やクラブからの寄附に対しての表彰制度があります。

(文責/丹治正博)

私のひとこと

安藤健次郎 会員



咲ける萩かも

毎年の背丈が二メートルを遙かに超える庭の萩枝垂れを眺め思うこと。

この季節、京都の萩の賑わいは、出町柳の「萩の寺・常林寺」、京都御所東沿いの「梨木神社」、悪ガキの子どもの頃に匂える京の萩の記憶も薄れるばかり。

万葉集に「草枕たび行く人も行き触れば、匂いぬべしも咲ける萩かも」とこの季の歌に。

旅ゆく人が旅寝をするなかで萩の色が袖に染まり、それを「萩が匂う」ともいうと。

また、「匂う」とはもともと「色が染まる」とも歌われ「香に匂う」とも、なんと雅やかないまいまし。今の人が言う香りとおなじ意味合いなのでしょう。いま季は「香に酔いしれる」食欲の秋、食材も香り



も多種多様な振る舞いをそえて華やかです。この時期なんと言っても香りの王者は変わらぬ「松茸」。この秋香る「松茸に匂う」にあやかり、色香を袖に染まれと心ときめかせて、疲れを癒すうたた寝でもしながら、焼松茸で一献の夢見つつ「咲ける萩かも」とはいかないものです。

パンダハウス募金 …移動例会のため、募金はありません。

例会次第

* 例会前 12:15 ~ 食事

開会点鐘

丹治正博 会長

お客さま並びに来訪ロータリアン紹介

会長挨拶

丹治正博 会長

職業奉仕委員長挨拶

菅野 晋 委員長

各委員会報告

● プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当

今井理基夫 委員

閉会点鐘

丹治正博 会長



◎村崎 昌秀工場長よりご挨拶いただいた後、工場内見学を行いました。

例会プログラムのご案内

■ 10月16日(木) 理事会承認休会(1回目)

■ 10月23日(木) 12:30 ~ 「辰巳屋」
新会員スピーチ

総合学習塾アビリティ代表 佐藤朋幸 会員

* プログラム案内 * 「友」紹介 * 血圧測定

■ 10月30日(木) 12:30 ~ 「辰巳屋」
クラブ協議会(野崎ガバナー公式訪問前)

■ 11月4日(木) 18:30 ~ 「辰巳屋」

11月理事会(19:00より合同懇親会)

* 18:00 ~ 指名委員会が開催されます

■ 11月6日(木) 12:30 ~ 「辰巳屋」

野崎 潔ガバナー公式訪問

・ 9:30 … 会長・幹事会

・ 10:30 … クラブ協議会

(各委員長、小委員長さんは義務出席になります)

・ 12:30 … 通常例会

* 誕生祝い

■ 11月13日(木) 12:30 ~ 「辰巳屋」

渡辺健寿地区クラブ奉仕委員長スピーチ

* 「友」紹介 * 血圧測定 * プログラム案内

■ 11月20日(木) 理事会承認休会(2回目)

■ 11月27日(木) 12:30 ~ 「辰巳屋」

・ 「ロータリー財団月間にちなんで」スピーチ

安藤健次郎 R財団委員長

・ 新会員スピーチ

江刺家宏樹 会員

ニコニコBOX報告

〈報告〉今井理基夫 委員

本日のニコニコBOX投入額 23件 ¥48,000 累計 ¥974,000

○菅野 晋 会員

本日、職場訪問例会、ヤクルト本社福島工場の皆様には大変お世話になります。

○幡 研一 会員

ヤクルト本社福島工場での職場訪問例会を楽しみにして昨夜の皆既日食は良く見えました。

○茂田士郎 会員

職場訪問例会でお世話になります。以前ヤクルト本社の庭に藤棚があつて地域の子供を集めては池の魚つかみ大会がありました。大森に住む私は孫を連れて参加して楽しみました。二十年ほど前のことです。

○浦部 博 会員

前から興味がありました。ロータリーならではの職場訪問が毎回楽しみです。

○田苗 博 会員

秋も深まり、これから紅葉が楽しみです。今日は、ヤクルト様、宜しくお願いします。

○鈴木勇人 会員

ヤクルト大好きです。特にヤクルトジョアの「いちご味」が最高です。

○五阿弥宏安 会員

ヤクルト工場への感謝を込めて。

○丹治正博 会長

本日の職場訪問例会は、ヤクルト本社福島工場のご協力を頂き開催致します。ヤクルトの企業理念の一端に触れさせて頂きたいと思ひます。

○坪井大雄 幹事

職業奉仕委員会の皆様、設営準備ありがとうございます。

○他に

菅野晴隆／佐藤英典／森岡幸江／岩田尚志／有田吉弘／海野卓哉／古俣 猛／藤井高志／右近八郎／土屋敦雄／田沼紀美子／増子勉／内池浩／今井理基夫